

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

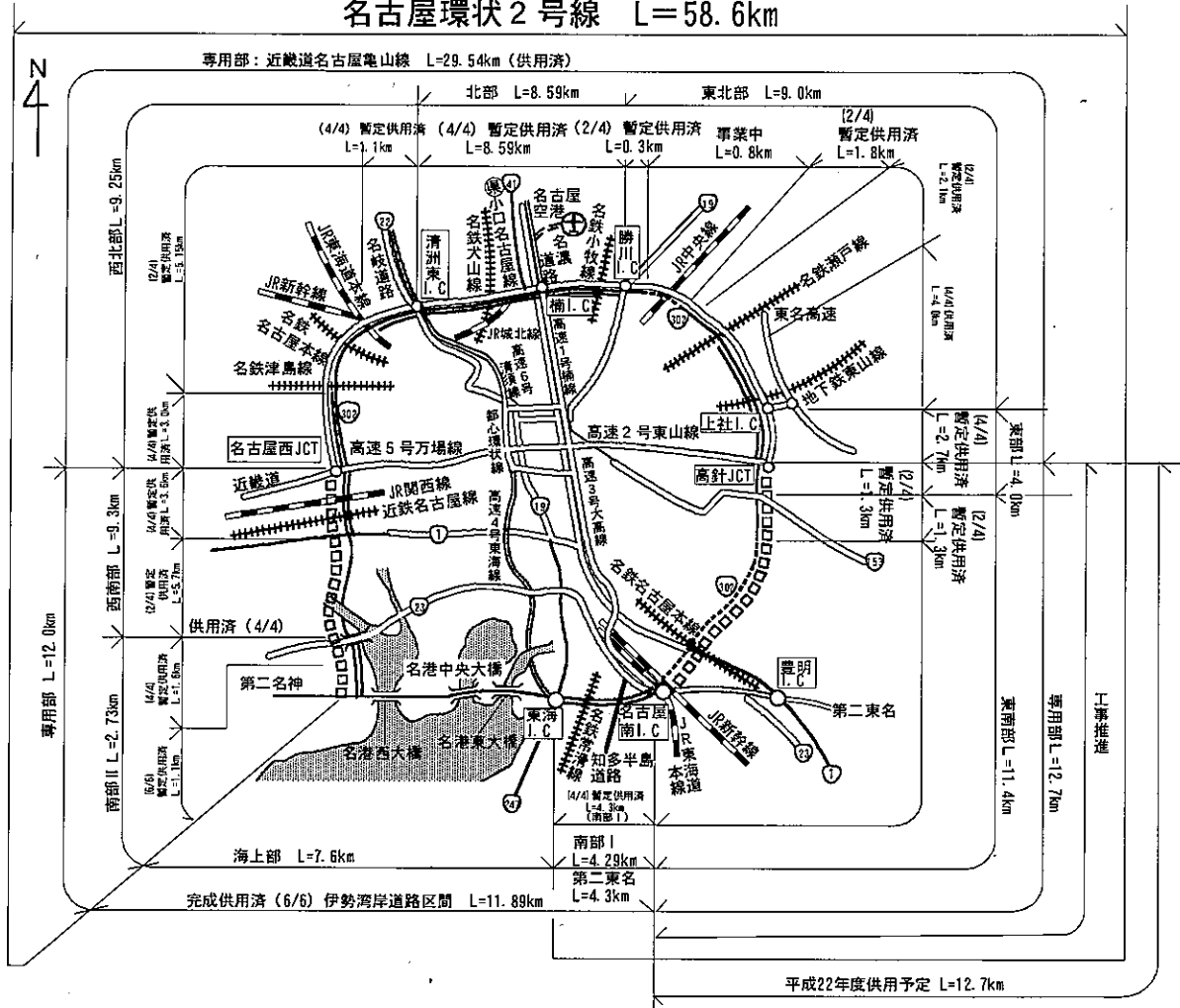
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道302号名古屋環状2号線		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県名古屋市中川区富田町 至：愛知県名古屋市中川区富田町			延長	58.6km	
事業概要 一般国道302号（名古屋環状2号線）は、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路と主要地点で連結し、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路であり、大都市圏の環状道路として、都市内交通の混雑緩和を図るとともに、沿道環境改善にも大きな役割を果たす道路である。						
S46年度事業化		S57年度都市計画決定		S46年度用地着手		S48年度工事着手
全体事業費		約5,300億円	事業進捗率		89%	供用済延長
						47.7km
計画交通量		34,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体) 1.8	742/10,607億円 事業費：658/10,436億円 維持管理費：83/171億円		2,281/19,483億円 走行時間短縮便益：2037/16940億円 走行費用減少便益：230/2227億円 交通事故減少便益：14/316億円		平成20年
残事業		3.1				
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.0(交通量+10%) B/C=2.4(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.8(事業費+10%) B/C=3.4(事業費-10%)						
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（通過交通の削減による渋滞緩和・沿道環境の改善が見込まれる） ・物流効率化の支援（特定重要港湾へのアクセス向上） ・都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり） 他18項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 一般国道302号名古屋環状2号線は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、愛知県のほか、名古屋市をはじめとする関係5市3町1村の首長で構成される名古屋環状2号線整備促進期成同盟委員会より早期整備の要望（平成20年7月・11月）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 現在、重点的に事業を実施している東南部区間は市街化が著しく沿線周辺の人口も高い伸びを示しており、並行する（主）名古屋第二環状線における混雑度も1.11～2.49と高い。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体延長58.6kmのうち47.7kmが供用中（事業費ベース進捗状況：約89%、用地買収率約100%）。現在、東部・東南部区間について、H22年度の供用に向けて事業を展開中。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一般国道302号（名古屋環状2号線）東部・東南部区間 平成22年度完成予定 一般国道302号（名古屋環状2号線）全線 平成20年代の完成を目指す						
施設の構造や工法の変更等 橋梁の橋種変更・橋長短縮、掘割部掘削時の仮設工法の見直し等、コスト縮減を図っている。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



なごや かんじょう
名古屋環状2号線 L=58.6km



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。